

町田市議会
2024年
第2回定例会

「避難所と通学路の安全が明確になるまで 統廃合計画の延期を求める請願」が採択

南成瀬小

南2小

南成瀬地区の危険な通学路



「避難所と通学路の安全が明確になるまで南成瀬小と南第二小の統廃合計画の延期を求める請願」を陳述した保護者は、通学路の危険な場所を写真で示して、重い荷物を背負って40分以上も歩いて通う子どもたちの実態を訴えました。「請願」は賛成多数で採択されました。

町田市議会2024年第2回定例会が、6月4日から28日までの日程で行われました。女性団体が提出し採択された「請願」を基にした議員提出議案「選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書」が多数で可決しました。一般会計6月補正予算では、高齢者新型コロナウイルスワクチン定期予防接種事業などの予算が計上されました。同予防接種は65歳以上の方を対象に1回払い、自己負担分3500円以外の費用を国と市が出します。補正予算は全会一致で可決しました。

「選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書」が多数で可決！

災害時「ひなた村」の坂を避難するの？

本町田地区の「PFI契約前に避難施設の安全性を明確にすることを求める請願」に、防災安全部長は「ひなた村」を代替の避難施設にすると答弁。急坂を登る「ひなた村」では学校に代わる安全な避難所とはなりません。「請願」は賛成少数で不採択になりました。

鶴2小に仮設校舎建たず計画大幅変更

継続審査になっていた、「新たな学校づくり鶴川地区小中学校計画」の画地の開かれた議論を求める請願は、鶴川東地区統廃合計画が大幅に変更され、児童、保護者への影響が大きいため、地域住民や

関係者に対して、再度説明と意見集約を求める内容です。共産党は住民に開かれた議論を行うべきと討論。しかし、賛成少数で不採択になりました。

市民の声は学校存続！統廃合計画は見直しを

この間の急激な資材高騰の影響を受け、2055年度までの学校建替え・改修費用が約2540億円から約4400億円に膨らむ見込みになりました。さらに、直近の国の将来人口推計で、町田市の今後20年間の子ども減る割合が12・6%と示されました。市も児童生徒数の推計を見直すとしていますが、3割子どもが減るといいますが、前提で策定された「新たな学校づくり推進計画」は全面的に見直すべきです。そして、一人ひとりの子どもにゆきとどいた教育と居場所を保障し、コミュニティの核としての地域の学校を存続すべきです。計画の再検討が求められる今こそ、日本共産党は学校統廃合計画の見直しを求めてがんばります。



補聴器購入補助制度を求める請願 1票差で不採択



「加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める請願」が市民から出され、健康福祉常任委員会で審議されました。請願者からは、東京都内でも年々実施自治体が増えている、町田でも早急に実施してほしいとの話がありました。日本共産党の田中美穂市議が、東京都の「未来の東京戦略 アクションプラン」には、2026年度に都内全ての自治体で補聴器補助制度を実施する目標が書いてある、すべての自治体で必要な制度だということだと思いませんかと質問すると、担当課長は、まずは聞こえのチェックのアプリ活用の効果を検証すると答弁。田中市議は都の補助を活用して購入費補助制度の実施を求めました。委員会では、請願が採択となりましたが、本会議で可否同数で議長が反対に投じて不採択になりました。

自転車用ヘルメット購入補助 第2弾

努力義務となった自転車運転時のヘルメットの購入補助事業が6月議会で予算化されました。今回は、特に高校生に利用を促すために高校生枠が設定されています。今年度から都立高校への自転車通学でヘルメット着用が義務化されています。ぜひご活用ください。

補助額：1個につき最大2000円

高校生枠：1000件

一般枠：2000件

申請期間：2024年7月1日から2025年1月31日まで

*2024年1月1日～6月末までに購入したものが対象



詳細はQRコードを参照ください。

